

甲信越地域初！！

内視鏡ホルダーロボットを導入しました！！

世界初・空気圧駆動による日本製ロボット EMARO®



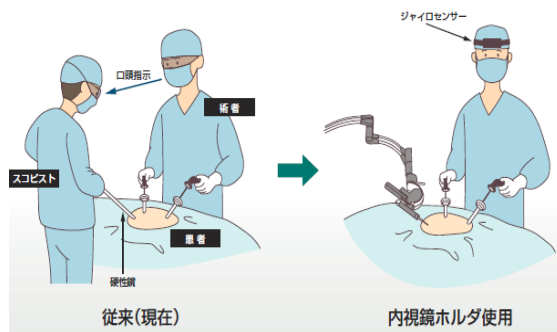
内視鏡用ホルダ EMARO®（エマロ）は、世界初・空気圧による制御機構を採用した**国産手術ロボット**です。空気圧による柔軟で滑らかな動作のもと、上下左右、前後、回転の4自由度を有しています。

加納岩総合病院では、国産（日本初）手術内視鏡用ホルダーを、この度**甲信越地域で初めて**導入致しました！国産の先端技術を、安心と共に患者様へご提供致します。

EMARO®の“ココ”がすごい！！

おなかに数か所小さな穴をあけて治療を行う腹腔鏡手術では、カメラで腹腔内を見ながら治療を行います。このカメラを保持し執刀医の頭の動きで操作するのがEMARO®の仕事です。

通常は人がカメラを持って手術を行います。EMARO®を使用することで今までにない**安定した視野と滑らかな動き**を実現したことで、**医師のスムーズな施術**へ貢献しています。



患者様にやさしい治療“低侵襲手術”

様々な病気の治療で“手術”という選択をする際、より患者様のからだに負担の少ない手術のことを“**低侵襲手術**”といいます。

高い技術が必要ですが、その件数は増加傾向にあり**患者様の※QOL向上**に貢献しています。

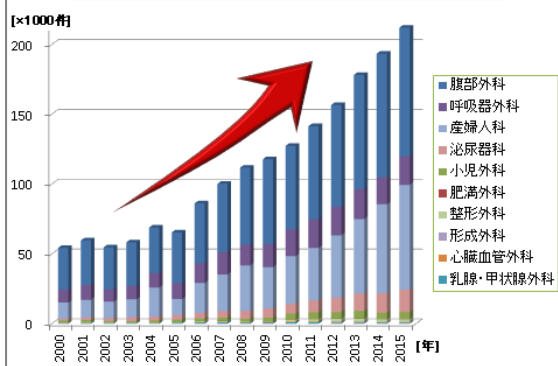
当院の外科では、低侵襲手術である腹腔鏡手術を選択肢としてご用意しており、内視鏡用ホルダ EMARO®も大活躍しております。

※QOL (Quality Of Life = 生命・生活の質)

…個人の生き甲斐や精神的な豊かさを重視して質的に把握しようとする考え方。

QOLの向上とは、手術等の治療後の生活の質を向上させるという意味になる。

内視鏡外科手術総症例数の推移



※参考：日本内視鏡外科学会雑誌 第21巻 第6号・2016年11月
「領域別の内視鏡外科手術総症例数の推移」より